



2022年度も、さまざまな資料が地域資料室に入りました。その一部を紹介します。
紹介した本は、2023年3月29日(水)～4月23日(日)に地域資料室カウンター前などに並べます。

	資料名	著者 発行者	出版年	内容	貸出
L121	宣長さがい	鈴屋遺蹟保存会本居宣長記念館	2022	人物	×
L173	津八幡宮の名宝	石水博物館/編集・発行	2022	寺社	×
L200	これであなとも歴史探偵!	千枝大志ほか/編著, 風媒社	2022	歴史	○
L261	神島の歴史と空間	北村優季/著, 名著出版	2022	歴史	○
L289	80代で見つけた生きる幸せ	G3sewing/著, KADOKAWA	2022	人物	○
L290	d design travel 31 三重	D&DEPARTMENT PROJECT	2022	紀行	○
L290	10日で走破! 自転車で行く東海道五十三次	成美堂出版	2022	紀行	○
L369	コレゼ～んぶUDなんです!!	伊藤順子/著, 幻冬舎メディアコンサルティング	2022	福祉	○
L388	日本怪異妖怪事典 近畿	朝里樹/監修, 笠間書院	2022	民俗	○
L450	東海・北陸のジオサイトを味わう	森勇一ほか/著, 風媒社	2022	自然	○
L483	集まれ! 三重のクジラとイルカたち	三重県総合博物館/発行	2022	自然	○
L519	青空のむこうがわ	伊藤三男/著, 風媒社	2022	環境	○
★L519	三重県サステナビリティレポート	三重県環境生活部環境生活総務課企画班	[2022]	環境	×
L519	四日市公害 当時の子どもたちの声	四日市再生「公害市民塾」/編集・発行	2022	環境	○
L552	大湊の造船と旧市川造船所資料	伊勢市文化政策課/編集・発行	2022	船	○
L586	近代紡績のススメ	渋沢栄一記念財団渋沢史料館/編集・発行	2015	産業	×
L586	日本綿業史	阿部武司/著, 名古屋大学出版会	2022	産業	○
L602	近代日本の競馬	杉本竜/著, 創元社	2022	産業	○
L612	三重県・伊賀地域の農業のあゆみ	三重県・伊賀地域の農業を考える会/著・発行	2022	農業	○
L662	いのちをつなぐ海のものがたり	矢田勝美/著, ラトルズ	2022	漁業	×
L682	伊勢旧街道を歩く	森下恵介/著, 東方出版	2022	交通	○
L682	道標を尋ねて その5	森正男/著・発行	2022	交通	×
L683	近世の地域経済と商品流通	落合 功/著, 岩田書院	2007	流通	×
★L683	瀧田家の廻船文書 I-III	日本福祉大学知多半島総合研究所/編集, とこなめ陶の森	[2022]	流通	×
★L683	知多半島の歴史と現在 26	日本福祉大学知多半島総合研究所/編集・発行	2022	流通	×
L686	近鉄沿線の近現代史	三木 理史/著, クロスカルチャー出版	2022	鉄道	○
L686	図説鉄道の博物誌	石田 正治/編著, 秀和システム	2017	鉄道	○
L686	名古屋圏鉄道事情大研究	川島 令三/著, 草思社	2022	鉄道	○

※貸出欄が「○」の資料は市立図書館内に貸出可のものがあります。「×」となっても、市内の別の図書館で貸出できる資料もあります。

※★印は、「Pick up!」でとりあげた資料です。

	資料名	著者/発行	出版年	内容	貸出
L718	三重の円空	三重県総合博物館/発行	2022	仏像	×
L724	元永語録	元永 定正/[著]・増田 喜昭 /編, 子どもの本専門店メリーゴーランド	2018	美術	○
L724	わたしはイモムシ	桃山 鈴子/著, 工作舎	2021	美術	○
L724	へんしん	桃山 鈴子/作, 福音館書店	2022	美術	○
★L726	ゴルゴ13 198巻	さいとう たかを/著, リイド社	2020	美術	×
L732	竹取物語	江國 香織/文・立原 位貫 /画, 新潮社	2008	美術	○
L762	四日市「ピアノ」ものがたり 	黒田 加恵/著, 四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会	2022	音楽	○
L800	地図で読み解く関西のこぼ	岸江 信介/編, 昭和堂	2022	言葉	○
L911	三谷蘆華	志水 雅明/著, 志水舎	2022	文学	○
L913	山口誓子を知る	米田 恵子/著, 神戸大学出版会	2022	文学	○

※貸出欄が「○」の資料は、市立図書館に貸出可のものがあります。「×」でも、市内の別の図書館で貸出できる資料もあります。
 ※★印は、「Pick up!」でとりあげた資料です。
 ※紹介した資料は、2023年3月29日(水)～4月23日(日)に地域資料室カウンター前に並べます。



新しく入った資料の中から、担当職員が気になった資料を紹介します



『三重県サステナビリティレポート』(令和4年度版) 三重県環境生活部 環境生活総務課

温室効果ガス排出の増加は、地球規模の気候変動や生物多様性の損失をもたらすことが分かってきています。日本でも、2050年までに「温室効果ガスの排出ゼロ(カーボンニュートラル)」を目標にしています。あまりに大きな話で、目標に遠いのか近いのか、具体的に何をするのかを知ることが大切です。このレポートには、県内の情勢・動向・計画などがデータと共に記されどう考え、取り組み、進めようとしているのかが分かります。また、コラムには、私たちでも取り組みそうな実践が書かれています。四日市市が発行した『第4期四日市市環境計画(L519//21)』の表紙にも、「環境問題は自分ごと」と書かれています。この2冊が、今の生活、将来の地球を守るために、自分に何ができるのか気づかせてくれるのではないのでしょうか。

『瀧田家の廻船文書 I～III』 日本福祉大学知多半島総合研究所/編集, とこなめ陶の森, [2018-2022]

江戸時代、四日市の商人たちは干鰯や油などのこの地域の産物を船に乗せ、江戸など各地へ運んでいました。この資料に収録されているのは、常滑で廻船問屋を営んでいた「瀧田家」の廻船に関する文書。この廻船問屋の商売相手には四日市の商人もおり、北勢地区からの積み荷も多く扱っていたようで、文書にある積み荷の宛先や品目の目録からは、当時の流通の実態を読み取ることができます。2年ごとに刊行されているこの資料。次の回では、どんな流通の姿が見られるのか楽しみです。※『知多半島の歴史と現在』(日本福祉大学知多半島総合研究所/編集)もあわせてご覧ください。

『ゴルゴ13 198巻』 さいとう たかを/著, リイド社, 2020

あの「ゴルゴ13」に、四日市市が登場しています。舞台は、四日市港にある、全長58mの鉄道橋「末広橋梁」(作中では末長橋梁という名前)です。末広橋梁は、鉄塔頂部からワイヤで巻き取り跳ね上がる仕組みの、日本最古の現役可動橋で、1日に5～10往復の貨物列車が通っています。

四日市港に現れた「デューク東郷」の目的とは !?



四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号
 TEL059-352-5108 Fax059-352-9897
 開館時間/(平日)9:30～19:00(土日祝)9:30～17:00 休館日/月、第2,4火、年末年始、特別整理期間